

中施策評価書

作成日 令和04年 12月 1日

中施策事業名	図書館施設維持管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	13 教育や子どもに関する予算が確保され、教育環境がよい		
②大施策	教育や子どもに関する予算を確保し、教育環境を整える		
③中施策	学校以外の教育施設・設備を充実する		
④中施策事業の対象	図書館施設		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	施設の改修や維持管理が適切に実施され、快適に利用できる環境が整っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設の維持管理事業 ・展示室事業 ・施設利用及び年間行事予定事業 ・館内の美化事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
入館者数（本館・栄分室・南部公民館図書室）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	239,000	239,000	239,000	239,000	239,000	239,000
	実績値	141,286	178,288				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				22, 109千円	22, 230千円	
	a 事業費合計			22, 109千円	22, 230千円	28, 147千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				104千円	157千円	104千円
③ コスト (①－②)				22, 005千円	22, 073千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				320 円	321 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 新型コロナウイルスのため、入館者は一時減ったが令和3年度は回復してきており、目標値に達成していないが、増加傾向である。 網戸がないために蜂等の生き物が外部から侵入していたが、網戸を設置したことで改善できた。駐車場側に監視カメラを2台設置し防犯対策に努めた。 施設が古いため設備等の老朽化が目立ち修繕箇所も増えてきている。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設の老朽化にともない設備等の改修を行う（トイレ・外壁）改修にあたっては、利用者の安全や利用環境に配慮しながら実施できるよう、公共施設管理課や設計業者と協議していく。 南部公民館図書室の改修を行うにあたり、工事期間については極力短くするよう工夫し、サービス低下にならないよう配慮する。また、市民に施設のPRをするため広報だけでなく5月にオープンしたカラット等様々な場所を利用しPRする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	トイレ改修（洋式化）と授乳室の設置及び外壁工事は、令和5年度に実施する予定である。 南部公民館図書室のリニューアルに際し、市民満足度を高めるために市民目線でのサービス向上を検討する。また、リニューアル後に利用者の満足度を検証するため、アンケート調査を実施する予定である。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 閉架書庫改修事業	内容、理由、時期等 開館当初からの設備で同種類の設備・備品が無く不具合が発生した場合、修理が不可能で蔵書貸出業務に支障をきたすため、4分割し、R4～9の4年間で改修工事を実施する。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 5月 10日

中施策事業名	資料情報管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	図書館資料		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	図書館資料の詳細データが整備され、検索が容易にできる状態となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 資料総点検全般事業 ・ 電算システムの管理事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
年間の予約件数 (web予約含む)	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	11,600	11,600	12,000	12,000	12,000	12,000
	実績値	10,738	16,917				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				37, 599千円	7, 915千円	
	a 事業費合計			37, 599千円	7, 915千円	8, 656千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				37, 599千円	7, 915千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				546 円	115 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B インターネットでの予約ができ開館時間外でも利用できるようになり、予約件数は大幅に増加し目標値を達成できた。入館者数は安定している。 インターネットでの予約や検索ができるのでインターネットの利用者が増えてきている。令和2年度にＩＣタグシステムを整備し、令和3年度5月から活用を開始した。図書資料の貸出・返却の利便性を図り、図書資料の管理を効率よくした。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引続き利用者にとって、利用しやすい、わかりやすい館内にするよう利用方法の案内板等を掲示する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	利用者が利用しやすいように資料案内ができる工夫をする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 12月 1日

中施策事業名	図書館資料貸出事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	新しい文化を醸成する		
④中施策事業の対象	図書館利用者（児童・生徒とその保護者及び関係する地域住民）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	読書推進によって、子どもの情操教育が充実し、市民も豊明の歴史・伝統・文化に対する関心が高まっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 広報、館報、HP、電子掲示板、メール配信事業・一般書事業・児童書事業・図書館用AV資料事業・レファレンスサービス事業・相互貸借事業・利用案内事業・利用推進事業・学校連携、職場体験事業・ボランティア事業・南部公民館図書室改善事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
年間貸出点数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000
	実績値	381,573	451,351				
単位	点						
新規登録者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	実績値	939	1,138				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				34, 681千円	33, 306千円	
	a 事業費合計			34, 681千円	33, 306千円	41, 780千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				34, 681千円	33, 306千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				504 円	484 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B I C タグの導入により図書資料の自動貸出・返却が可能となり、その利便性の向上によって貸出冊数が増加し目標値を達成したが、新規登録者数は目標値を達成しなかった。引き続き「おすすめ本コーナー」等を継続し、達成につながるよう工夫をする。 I C タグ導入により窓口業務が自動化されたため、受付での人との接触が無くなり、受付事務の効率的な運用にもつながった。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市民満足度向上策として市民のニーズにあわせ、「えいごでおはなし会」「夏休みプログラミング講座」「ビブリオバトル入門・体験講座」等、新規行事を企画している。参加者が集まり来館者数の増加が見込まれる。 南部公民館図書室については、前後駅利用者などが利用しやすいよう充実を図るとともに、より一層利用しやすい環境を作る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	「おすすめ本コーナー」や新規行事の継続をし、市民の多様なニーズに見あった行事となっているか検証する。 南部公民館図書室については、前後駅利用者（通勤・通学）の増加を見込んだ蔵書の充実、および書架を低くし開放感のある図書室にする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 5月 10日

中施策事業名	郷土資料保存事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	郷土資料等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	豊明の歴史、伝統、文化に関する資料及び情報が収集されるとともに利用しやすい環境が整備されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 参考資料室事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
郷土資料の貸出冊数（原則館内利用だが、5日間の特別貸出可能）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	180	190	100	100	100	100
	実績値	68	58				
単位	冊						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費 (a+b)				895千円	875千円		
	a 事業費合計			895千円	875千円	642千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				895千円	875千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				13 円	13 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 貸出冊数は目標値に達していないが、一定数の利用はある。特設コーナー及びおすすめ本コーナーの活用を引続き行っていく。 貸出用の郷土資料は、やはり桶狭間の戦いに関するものが多い。そのため、NHK大河ドラマなどで桶狭間の戦いや信長、義元など豊明市に縁のある人物が注目される年は郷土資料の貸出冊数が増え、別の時代や人物が取り上げられた年は減る傾向にある。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	郷土資料の充実と見やすく、わかりやすく、利用しやすい書架のレイアウトを工夫する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	郷土資料における実績数を分析し、その結果をふまえた書架整備を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等